



新年のご挨拶

病院長 寺坂 薫

新年あけましておめでとうございます。

2023年は十二支でいうと「卯年」、十干では「癸」となり、干支は「癸卯(みずのとう)」となります。「癸」は「揆(はかる)」という文字の一部で「種子が計ることができるほどの大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味です。「卯」は「茂」という字が由来で「春の訪れを感じる」という意味があります。この2つの組み合わせで2023年の卯年は、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しています。今年は「癸卯」の如く、「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年にしていきたいと思います。



2020年1月15日に日本で最初の新型コロナウイルス(COVID-19)感染者が確認され、その後、デルタ変異株、オミクロン変異株など、さまざまに変異し現在、第8波の流行となっています。当院においては2022年に2度のクラスターが発生し、病棟閉鎖、救急患者の受け入れをお断りするなど、皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

当院では患者さんに更なる寄り添った優しい医療を目指し、まず医療従事者である当院職員の意識の改革に務めています。その一環として、病院の理念とは別にキャッチコピー「まもりたい、あなたの明日と地域の医療。」を、また、このキャッチコピーを実行するための約束事である credo(信条)「①心のこもった挨拶と笑顔で接します。②患者さんに寄り添った医療サービスを提供します。③先進的な医療を提供します。④プロフェッショナルとしての自覚を持ち行動します。」を新たに作成しました。どれも当然の事ですが、職員がこれらの意識を共通認識として常に持ち、行動するための意識づけとしています。

ジョン・F・ケネディは講演で Change is the law of life. And those who look only to the past or present are certain to miss the future.(変化は人生の法則だ。過去または現在しか見ない人は確実に未来を見失う。)と述べています。

コロナ禍、ウクライナ侵攻など世界、社会、経済も色々問題はありますが、医療・介護・福祉の激動期にいる私たちが、より広く深く多くの情報を収集し、分析、検討、情報交換を行いながら、常に変化しながらも、未来も安心して暮らせる医療が維持されるようにしていきたいと思います。

これからも皆様(患者様)の気持ちに寄り添った治療を尽くし、安心して暮らせる医療を提供できますように努力していきます。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

転んだ時に衝撃を和らげるマットを導入しています

～転倒による骨折リスクを軽減～

安全管理対策室

当院では、入院患者さんの転倒転落防止対策に取り組んでいます。

入院時より転倒・転落リスクアセスメントシートによる危険度の評価を行い、転倒防止に必要な療養環境の調整や薬物（骨粗鬆症予防薬の投与）対策などを講じています。療養環境においては、低床ベット、L字柵、ロック式オーバーベットテーブル、離床センサーなどの活用を行っています。

2021年11月には、各病棟に緩衝マットを導入しました。通常時は硬く転びにくく、転んだ時だけ柔らかくなる「歩行安定性」と「衝撃吸収性」の両方を兼ね備えたマットです。特に転倒リスクの高い脳神経外科、整形外科病棟では、重症患者を管理する病室の床全面に緩衝マットを設置しています。2022年12月現在、緩衝マット上での転倒骨折事例は発症していません。



入院による生活環境の変化から、転倒転落の危険性が高くなるため、医療と生活の両面から転倒転落予防の療養環境を整えていく必要があります。しかし、転倒転落を防止しようとするあまり、過剰な行動抑止をすることは身体機能の低下（フレイル）をきたし、逆にその後の生活の質の低下に繋がります。転倒転落事故の発生をゼロにすることは出来ませんが、それを不可抗力と捉えるのではなく、患者自身が安定した行動ができるように支援しつつ、併せて転倒転落防止を考えなければなりません。当院では、患者・家族と共に転倒転落のきっかけとなる危険要因の回避を図り、事故防止に取り組む上で、転倒時に衝撃緩和のための緩衝マットの必要性を感じ、今回の導入にいたしました。

緩衝マット導入とともに、看護部とリハビリテーション科によるラウンドを開始し、より適切な療養環境になるように取り組んでいます。無形の効果として、緩衝マット上での転倒骨折が防げるだけでなく、理学療法士を含め多職種の転倒予防意識が向上したことや、ケアする看護師の心身の負担が軽減したことも評価され、現在、累計設置面積が約134平米となり、急性期病院において日本で一番、緩衝マットの設置面積が広い病院となっています。

—病院の理念—

高度・良質の医療
最善の奉仕
研鑽と協調
地域医療の支援

—病院の基本方針—

- 一 良質で適切な医療の提供に努めます
- 二 患者さんの権利を尊重し、患者さんの満足・安心・信頼を追求します
- 三 新しい知識と技術を積極的に習得し、常に質の高い先進的医療を行います
- 四 地域の中核病院として、地域社会の要請に応える医療を提供します
- 五 職員が意欲を持って働ける病院をめざします
- 六 次代を担う有能な医療従事者の育成をめざします
- 七 専門的ながん医療の提供に努めます
- 八 国内での医療救護活動に積極的に参加します

診察のお呼出状況が LINE で確認出来るようになりました

診察券番号を登録していただくと下記のサービスがご利用頂けます

診察まち機能

診察状況の通知がLINEに届きます。

予約確認機能

次回の予約日をスマホから確認できます。

リマインド通知機能

予約日の7日前・前日にリマインド通知がスマホに届きます。



初めての方も簡単登録

STEP1



登録用二次元コード

こちらの二次元コードをお手持ちのスマホで読み込んでください

LINEがインストールされている場合はLINEのアイコンを長押しするとQRコードリーダーという選択が出来ますのでそこをタップ



STEP2

1階保険証確認窓口にて保険証の提示をお願いいたします。

発行番号	行先票	a99990014a
529		LINE登録はこちら
(ID: 99990014)		日: 2022年11月10日 時間: 21:37
患者氏名	テスト リハ4 様 (男)	診療科
生年月日	1980年4月18日 (42歳)	種
最終受診日	令和4年10月30日	33診療科

行先票がお手元に無い場合は受付票をご用意ください。

LINE登録はこちら

生年月日は選択で入力します。

LINE登録はこちら

診察券の登録

診察券番号と生年月日を入力してください。

診察券番号 (10桁)

受付番号 (4桁)

生年月日 (6桁)

次へ

前の画面に戻る

※受付番号は当日のみ有効
※2回目以降は再来機で受付するだけで通知が届きます。

← 診察券番号

← 受付番号

← 生年月日

呉市総合防災訓練に参加しました

呉共済病院は、広島県から災害拠点病院として指定されています。

災害拠点病院は、災害時における医療提供体制の拠点として位置づけられ、災害派遣医療チーム(DMAT)と後方支援医療チームとして、災害現場で医療活動ができる体制を整備しています。

呉市総合防災訓練は毎年実施していましたが、コロナの影響で、3年ぶりに令和4年10月21日に広の多賀谷多目的広場で実施されました。

呉共済病院からは、DMATと後方支援医療チームとして、医師3人、看護師6人、薬剤師1人、事務員3人の計13人が参加いたしました。

この訓練では、行政、消防、自衛隊、医療機関、ライフライン機関との連携による災害時の対応と人命救助を主な訓練としています。

呉共済病院のDMATは災害現場の医療活動指揮所で、重症患者から救命治療を行い、優先すべき救急搬送の判断を救急隊と行いました。

また、後方支援医療チームは、DMAT隊の後方支援として、災害現場での医療活動の訓練を行いました。

災害時に呉地域の皆さまの人命を救うための活動を今後も実施してまいります。





国家公務員共済組合連合会

呉共済病院看護専門学校

～人の心に寄り添える自分になる～

宣誓式を終えて

教務課長 大亀小百合

令和4年11月、1年生36名の宣誓式を挙行了しました。以前は戴帽式と言われていましたが、ナースキャップの廃止に伴い宣誓式と名称を変更しました。本校では入学半年後、看護への責任と誇りを自覚し看護師になるという志をあらためて誓う儀式として行なっています。今年は3年ぶりに保護者をお迎えし、2・3年生と教職員が見守る中、厳かに行われました。一人ずつナイチンゲール像から看護の灯を受け継ぎ、自分たちで考えた看護への誓いの言葉を全員で斉唱しました。真新しいユニフォームに袖を通し宣誓する一人ひとりの表情は、ナイチンゲールの看護の心を承継する強い気持ちが表れているようでした。

宣誓式を終えた翌週から、呉共済病院で「患者の生活を整える実習」が始まり、初めて患者さんを受け持ち関わらせて頂きました。実習前から放課後の時間を使い、シーツ交換や血圧測定など一生懸命練習しました。教員の指導や、時には上級生が練習に付き合いアドバイスをするなど、1年生が患者さんに安全で安楽な看護が提供できるよう皆でサポートしました。

実習では緊張や不安で胸が一杯な1年生に、患者さんの方から優しく声をかけて下さいました。また、実習先の看護師や職員の方々から丁寧に指導頂きました。患者さんを始め多くの方々に支えられ、本校の1年生36名は無事に実習を終えることができました。実習の学びを基に成長し続ける看護学生を、これからも温かく見守って下さいますようお願いいたします。



▼▼ 呉共済病院看護専門学校ホームページへはこちらから ▼▼

呉共済病院 看護学校



国家公務員共済組合連合会

呉共済病院

まもりたい、あなたの明日と地域の医療。

〒737-8505 広島県呉市西中央2丁目3番28号

TEL 0823-22-2111 FAX 0823-25-4752

<https://www.kure-kyosai.jp>

発行責任者 病院長 寺坂 薫

